

2025/3/31

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(3月24日～3月28日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,463.0	1,471.5	1,462.0	1,466.5	+3.8
JPY/KRW	9.7788	9.8152	9.6974	9.7293	▲0.052
KOSPI	2,636.43	2,654.63	2,549.26	2,557.98	▲85.15

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は小幅上昇。週初のドル/ウォンは1,463.0ウォンでオープン。その後韓首相の弾劾訴追を憲法裁判者が棄却し、大統領代行に復帰。政治を巡る不透明感が強まったことで、その後ウォン安が進行し、1,470ウォン付近まで上昇した。1,470ウォンが短期的な節目と意識される中、27日には一時1,471.5ウォンの週高値をつけた。しかし、同水準付近では当局による為替介入への警戒感や輸出勢のウォン転意欲も確認され、上値は重く推移した。尹大統領の弾劾裁判の判決の宣告が当初予想より遅れていることから政治不安が高まっていることに加え、米トランプ大統領が自動車関税を発表するなど関税を巡る懸念もウォン売り材料となり、週末にかけてもドル/ウォンは底堅く推移。結局、前週末比+3.8ウォンの1,466.5ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は堅調推移を予想。韓国国内政治を巡っては引き続き不透明感強く基本的にウォン安地合いが継続しよう。その他、先週末の経済統計で米個人消費に減速、インフレの高止まりが確認されたことで米国のスタグフレーション懸念が高まった。米景気への懸念によりリスクオフムードが高まるとウォン相場には重しとなろう。今週は米重要経済指標の発表を控えていることから、これらを注視しつつ、ドル/ウォンは底堅い推移が継続しよう。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1455 ~ 1480	9.69 ~ 9.99	148.0 ~ 151.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 31日(月) 日 2月 鉱工業指数 速報値
 - 中 3月 製造業PMI
 - 中 3月 非製造業PMI
- 1日(火) 米 3月 製造業PMI 確報値
 - 欧 3月 製造業PMI 確報値
 - 米 3月 ISM製造業景況指数
 - 日 2月 失業率
 - 日 1Q 日銀短観
- 2日(水) 米 2月 耐久財受注 確報値
 - 米 2月 製造業受注
 - 米 3月 ADP雇用統計
 - 韓 3月 CPI
- 3日(木) 欧 3月 サービス業PMI 確報値
 - 米 3月 サービス業PMI 確報値
 - 米 3月 失業保険新規申請者数
 - 中 3月 総合PMI
 - 中 3月 サービス業PMI
 - 米 3月 ISM非製造業景況指数
- 4日(金) 米 3月 非農業部門雇用者数
 - 米 3月 失業率

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。